



Spreading the charm of Swan Hill

東桜学館中学校二年

要旨

山形市の姉妹都市スワンヒル市をご存じだろうか。私はスワンヒル市へ短期留学し、人々や文化の魅力をたくさん体験した。この魅力をどうしても山形市民に広めたく、ワークショップを開催することにした。

1. 探究背景・目的・仮説

山形市主催のスワンヒル市短期交換留学に参加した後、山形市とスワンヒル市の交流が交換留学などの幼い子供たちが参加しにくいような活動しかなく、スワンヒル市をもっと広めるには若い年齢層をターゲットにする必要があると考えワークショップを計画し始めた。ワークショップを開催するにあたり、教育理念に「国際性を身につけてもらう」とある山形市にあるバイリンガル幼稚園のMY Kindergartenに協力をお願いした。快く承諾していただき、15人の小学生が参加していただくことになった。

2. 今回のワークショップのねらい

- ねらい①:スワンヒル市の基本情報を知ってもらう。
- ねらい②:スワンヒル市の文化を知ってもらう。
- ねらい③:スワンヒル市をより身近に感じてもらう。

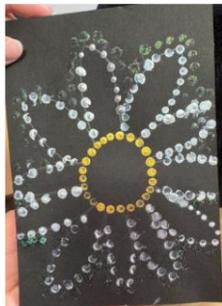
3. ワークショップの具体的な内容

- ①スワンヒル市に関するクイズやスピーチ
姉妹都市とか何かや日本とは何が違うかなど、実際の写真を用いて日常を紹介する。
- ②アボリジニアート体験
事前にスワンヒル市在住の方にスワンヒル市の文化を尋ねたところ、「オーストラリア全区域共通で、アボリジニの文化が残っていて、アボリジニアートが有名だ!」と聞いたため。そして、小学生も手軽に楽しめると考え企画した。
- ③スワンヒル市の中学生とビデオ通話
スワンヒル市に関する質問や、個人的な質問などを英語で伝える活動。今回は私が留学で知り合ったスワンヒル市の友達に協力をお願いした。
- ④アンケート実施
 - ① 姉妹都市を知っていたか。
 - ② 姉妹都市であるスワンヒル市を知っていたか。
 - ③ 今日の活動で一番魅力的だったものは何か。
 - ④ もっとスワンヒル市を知りたいと思ったか。
 - ⑤ 今日の感想。



3. 結果・考察

- ①スワンヒルに関するスピーチ
→皆、楽しくクイズに参加しながらスワンヒル市について学ぶことができていた。特にオーストラリアの食文化や、学校での授業風景があまりにも日本と違ったため、カルチャーショックを受けた生徒が多くいたようだった。
- ②アボリジニアート体験
→とても熱中し、異文化を体験していた。想像力を働かせて楽しんでいた。

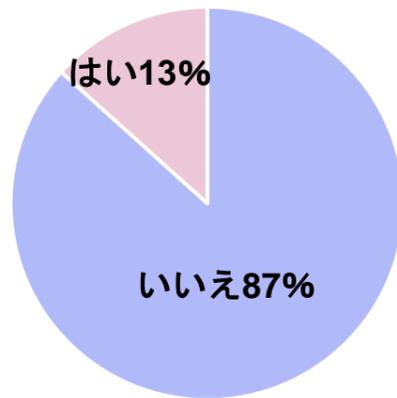


③現地の中学生とのビデオ通話

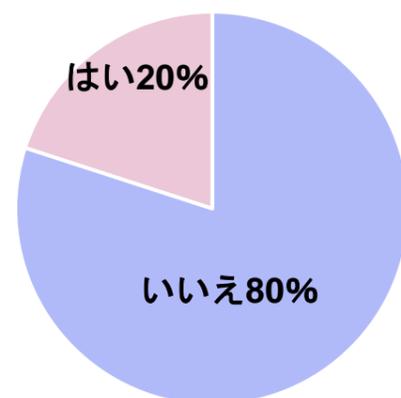
→緊張して質問できなかった子も中にはいたが、頑張っで英語で質問しようとする姿が見えた。実際に話す中で、新たに、子供のSNS規制などの最近のオーストラリアのニュースを学ぶことができ、驚いていた。



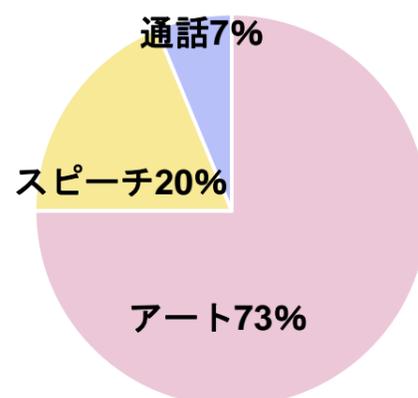
アンケート結果(15人への調査)
① 姉妹都市を知っていたか?



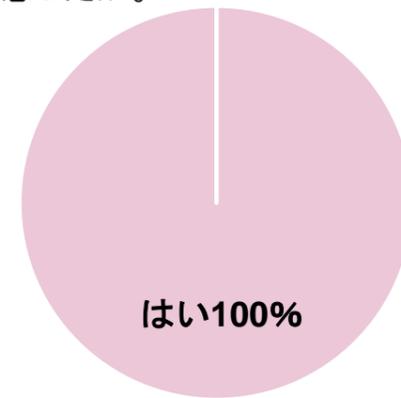
②スワンヒル市を知っていたか?



③今日の活動で、一番魅力的だったものは?



④ もっとスワンヒルを知りたいと思ったか?



すでにスワンヒル市や姉妹都市を知っていた参加者は、県庁へ社会科見学に訪れた時に配布されたパンフレットに載っていたのを見たとのこと。アート体験は低学年に一番人気で、スピーチとビデオ通話は低学年にとって少し難しかったという声があり、小学校高学年の参加者に一番印象に残っていた。ビデオ通話では緊張して話したかったが、できなかったという感想があったため、アイスブレイクで始めるなどの工夫が必要だと感じた。

今回のワークショップは小学生の低学年から高学年の幅広い年齢層に対応できたものだといえ、成功したといえる。

4. 今後の展望

MY Kindergartenさんから幼稚園生にもぜひワークショップを開催してほしいとお声をかけていただいた。特に、今回のワークショップでアートがとても好評だったため、アンケートを踏まえて難易度や内容をよりシンプルに易しつつ、アートを取り入れたワークショップを企画したい。また、何人かがスワンヒルを知るきっかけになった県庁のパンフレットを自分自身も拝見し、活動の参考にできると感じた。今後は地域の子供会やパンフレットを活用した広報活動を行い、スワンヒル市を広めていきたい。